



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平

(育成)

**美しい花いっぱいのもちづくり
～コロナ禍の暗い気分を吹き飛ばそう!～**

問 新型コロナウイルス感染症の蔓延とその対策の影響を受けて、市民の皆様も自粛が続く暗くなりがちだと思われる。そんな暗い気分を吹き飛ばすため、市役所を花いっぱい運動の聖地にしてはどうか。

部長 富士宮市は花の装飾による彩りのある空間作りを実施し、市民や来訪者に潤いと安らぎを与える魅力あるまちづくりを積極的に推進している。商店街地区においても駅周辺から中心市街地のにぎわい創出や市域全体での彩りある空間づくりを目指している。富士宮市全体が花いっぱい運動の聖地となるように取り組んでいきたいと考えている。

問 花には人を華やかにしたり、笑顔にしてく

れたり、心を和ませてくれる力がある。市役所の玄関前広場をもっと花いっぱいにしてはどうか。

部長 庁舎玄関前広場については、日本ハンギングバスケット協会マスター資格を有する団体に委託し、ハンギングバスケットを設置している。また、池前広場に沿ってフラワーポットを設置することで来庁者を和ませる雰囲気づくりに努めている。令和4年度には市政80周年を迎えることから、より華やかな演出を図れるように設置数や設置箇所、デザインについても検討していきたい。

問 市政80周年を盛り上げるためにも花いっぱい運動を推進していただきたい。

部長 思わず写真を撮ってみたいくなる撮影スポットを考え、街中を回遊してもらえるよう取り組んでいきたいと考えている。

市長 明るい色の花を植え、市民の皆様や来庁者が癒され、気分転換してもらえるよう実施させていただきたい。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正

(日本共産党議員団)

希望する保育所等に入れない保留児童の実態と改善について

問 過去3年間で保留児童の人数はどのように推移しているか。

部長 4月1日時点で、令和元年が22人、令和2年が18人、令和3年が28人である。

問 保留児童をなくすために、どのような対策を講じているか。

部長 定員の弾力化の運用を実施し、保育所等での定員以上の受入れ、会計年度任用職員の随時募集、年度途中の入園希望者のために計画的なゼロ歳児受入れ体制整備などを行っている。

問 年度途中の入園希望者について、入園許可を入園の直前ではなく、早く出すことはできないか。

部長 最終的な調整があるので、早めの通知は

難しい。

新型コロナウイルス感染症の影響で保育園、学校が休園、休校になって、保護者が仕事を休むことになった場合の休業補償について

問 休業補償について、保護者への周知徹底と事業所への活用を呼びかけているか。

部長 学校及び保育所からは保護者に休業補償制度を通知していない。市のホームページや企業メルマガなどによる制度の周知により、活用を促進している。休業補償を受けられない市民から相談があれば、静岡県労働局を通じて企業への働きかけにつなげている。

意見 事業所の負担にもならない休業補償制度について、まずは保護者に通知を出していただきたい。この制度は過去にさかのぼって申請でき、6月まで制度は延長される。今後も休園、休校はあり得るので、ぜひ対応をお願いしたい。

